

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平8-506757

(43) 公表日 平成8年(1996)7月23日

(51) Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I
B 0 1 J 37/02	1 0 1 A	9538-4D	
23/40	Z	9538-4D	
37/02	3 0 1 E	9538-4D	
	L	9538-4D	
C 0 7 C 57/08		9450-4H	

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 36 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平4-507637	(71) 出願人	シュトゥディエンゲゼルシャフト・コー レ・ミット・ベシュレンクテル・ハフツン グ
(86) (22) 出願日	平成4年(1992)4月7日		
(85) 翻訳文提出日	平成5年(1993)10月8日		
(86) 国際出願番号	PCT/EP92/00780		ドイツ連邦共和国 デー-45470 ミュー ルハイム/ルール、カイザー-ビルヘルム -プラッツ 1番
(87) 国際公開番号	WO92/18246		
(87) 国際公開日	平成4年(1992)10月29日	(72) 発明者	ベンネマン、ヘルムート
(31) 優先権主張番号	P 4 1 1 1 7 1 9 . 0		ドイツ連邦共和国 デー-4300 エッセン 1、グラスホーフシュトラアセ 82番
(32) 優先日	1991年4月10日	(72) 発明者	ブリジュクス、ヴェルナー
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		ドイツ連邦共和国 デー-4200 オーバー ハウゼン 1、ザールシュトラアセ 74番
(81) 指定国	EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IT, LU, MC, N L, SE), CA, JP, US	(74) 代理人	弁理士 青山 藤 (外2名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 高度に活性なドーブした金属担持触媒の製造方法

(57) 【要約】

本発明は有機または無機の担体物質と触媒金属前駆体から高度に活性なドーブした担持触媒を製造する方法に関し、周期律表6、7、8、9、10および/または11族の少なくとも一つの金属の金属粒子、金属クラスター、または金属コロイドの形の形の触媒金属前駆体で被覆する操作に先立って、または同時に、被覆存在下に周期律表4、5および/または6族の少なくとも一つの金属の低原子価の容易に分解可能な金属化合物で担体物質をドーブし(触媒金属前駆体の金属と低原子価金属化合物の金属は周期律表の異なった族に由来する。)、次に任意的に酸索で後処理し、すべての工程は-18℃~+25℃の温度で行う、ことを特徴とする。本発明はさらにそのような方法によって製造された触媒の使用に関する。